

報告書 資料集

長期研修員 松元 崇敏

目 次

1	第1回	授業実践	指導案	・・・・・・・・	2 ページ
2	第1回	授業実践	ループリック	・・・・・・・・	8 ページ
3	第1回	授業実践	ワークシート①	・・・・・・・・	9 ページ
4	第1回	授業実践	評価シート	・・・・・・・・	10 ページ
5	第1回	授業実践	教師用ループリック	・・・・・・・・	11 ページ
6	第2回	授業実践	指導案	・・・・・・・・	12 ページ
7	第2回	授業実践	ループリック	・・・・・・・・	19 ページ
8	第2回	授業実践	ワークシート①	・・・・・・・・	20 ページ
9	第2回	授業実践	評価シート	・・・・・・・・	21 ページ
10	第2回	授業実践	ワークシート②	・・・・・・・・	22 ページ
11	第2回	授業実践	振り返りシート	・・・・・・・・	23 ページ
12	第2回	授業実践	教師用ループリック	・・・・・・・・	24 ページ
13	第2回	授業実践	提案シート	・・・・・・・・	25 ページ

国語科学習指導案

令和〇年〇月〇日（〇曜日）第〇校時 2年〇組 教室 指導者 松元 崇敏

1 単元名 三年生に進路選択を教えてもらえるように話しやすい聞き方を考えよう

2 考察

(1) 教材観

研究協力校では、総合的な学習の時間で取り組む「地域学習」を柱として教科横断型学習に取り組んでいる。第2学年の総合的な学習では地域学習の中にキャリア学習を取り入れ、「職場体験」「上級学校調べ」を行う。生徒は地域の事業所で職場体験をしたり、地域の上級学校を調べたりして、地域の特色を学ぶと同時に自分の進路選択の情報も得ることができる取組となっている。国語科ではこの「地域学習」の中で、自分たちが得た情報を整理したり、まとめたり、発表したりする「知識・技能」や「思考・判断・表現等」を身に付ける役割を担っている。

本単元は「上級学校調べ」に取り組む前の段階として、生徒がどの上級学校を調べるのかを選択する場面を想定して設定した。調べる上級学校を選択するにあたり、生徒は情報を得る必要がある。各上級学校から配布されている学校案内や各学校の Web ページなど、生徒が情報を得るツールは多種多様に用意されている。そのツールの一つとして、先輩から情報を聞くという場面も必要である。

実際に多くの中学校では卒業生を招いて体験談を話してもらったり、現在進路選択中の3年生の進路選択の仕方を教えてもらったりする場を設けている。本単元では現在進路選択中の3年生にどのように進路選択をしているのかを教えてもらうことで、自分たちの進路選択の参考にできるようにしていく。その際、3年生から上辺の情報だけでなく、選択した根拠や経緯まで聞き出すことができれば、同じ悩みを抱える可能性がある2年生にとって大変貴重な情報になる。そこで、本単元では、現在進路選択中の3年生のから進路選択の根拠や経緯を聞き出すことができるような能動的な聞き方を考え、模擬実践を通して、能動的な聞き方が身に付けられることをねらいとした。

(2) 生徒の実態及び指導方針（男子〇〇名 女子〇〇名 計〇〇名）

これまで生徒は1年生の「情報を正確に聞き取る」の学習でメモのとり方を学習し、「ポスターセッションをする」の学習で話し手の意図を考えながら聞く学習をしてきている。2年生では、「要点を整理して聞き取る」の学習で、聞き取ったことを整理して相手に伝える学習をしてきている。

そこで、身に付けた力をさらに伸ばし、確実に身に付けられるようにするために、パフォーマンス評価を取り入れる。

生徒の身近な状況から課題を設定し、主体的に学習に取り組めるようにする。課題を解決するための方策を考えるために「話し合い活動」を取り入れ、相手を意識した聞き方を考えることができるようにする。考えた聞き方を模擬実践することで身に付けた力を実感することができるようにする。これらの活動をルーブリックを用いて形成的に評価をしていき、到達目標に向けて学習を進めていけるようにする。この一連の流れをパフォーマンス評価とし、本単元の学習に位置付けていく。

本単元の学習ではパフォーマンス評価を取り入れることで生徒が学習によって身に付けた力を確実なものとし、他の学習や活動へ活用できるようにしていきたいと考える。

3 研究とのかかわり

平成29年告示の中学校学習指導要領や平成31年度群馬県学校教育の指針では「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した授業改善が求められている。

本研究では国語科の「聞くこと」の領域にパフォーマンス評価を取り入れ、生徒の「聞くこと」の

力を高めることで「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指す。

そこで本単元では、必要感のある言語活動として聞くことの力が身に付かなければ解決できない「必要感のある課題」を設定し、必要感のある課題を解決するパフォーマンスを評価する。評価に当たっては聞く、聴く、訊くの視点で到達目標を生徒と共に考え、ルーブリックとして用い、自己評価、相互評価、教師による評価ができるようにする。単元の終末では、ルーブリックを用いて振り返りの活動を行うことで、学習した軌跡をたどり身に付いた力が実感できるようにする。この一連の活動を行うことで生徒はメタ認知をしたり、身に付いた力を次の学習に生かしたいという意欲をもったりすることができるようになると思う。

本単元の学習を通して、「聞くこと」の力を高めるためにパフォーマンス評価を取り入れる効果を検証していきたいと考える。

4 単元の目標

「上級学校調べ」で三年生に進路選択の仕方を教わるために、話し手が「話しやすい聞き方」を考える活動を通して、他者の考えと自分の考えを比較し、自分の考えをまとめ、メモに書いたり、質疑をしたりするなどして表現することができる。

5 指導計画（全3時間予定）

評価 規 準	関心・意欲・態度	能動的な聞き方を身に付け、話し手の思いを積極的に受け取ろうとしている。		
	話すこと・聞くこと	話すこと・聞くことにおいて、論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。		
	言語についての知識・理解・技能	意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。		
時間	過程	伸ばしたい資質・能力		主な学習活動
		活用させたい知識等	思考力・表現力等	
第1時	課題把握	<ul style="list-style-type: none"> 他者の意見を裏付ける根拠の在り方の理解 	<ul style="list-style-type: none"> 情報同士の結び付きに注意しながら聞き、話の方向性を考え、課題を把握する力 課題を解決していくための見通しをもつ力 	<ul style="list-style-type: none"> 単元の課題を設定する。 ルーブリックを作成する。
第2時	課題追究	<ul style="list-style-type: none"> 他者の意見を裏付ける根拠の在り方の理解 聞いて得た情報と自分のもっている情報とを図式化して整理する知識 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えと他者の考えの違いに気付きながら、自分の考えをまとめる力 	<ul style="list-style-type: none"> ペア活動やグループ活動で話しやすい聞き方について考える。

第3時	まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 聞いて得た情報と自分のもっている情報とを図式化して整理する知識 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えと他者の考えの違いに気付きながら、自分の考えをまとめ、自分の考えや他者の考えのよさに気付く力 これまでの学習の軌跡をたどり、自分が身に付けた力に気付く力 	<ul style="list-style-type: none"> グループの人を三年生の先輩と仮定して模擬学習を行う。 ルーブリックを用いて振り返りの活動を行う。
-----	-----	---	--	---

6 本時の展開 (1 / 3)

- (1) **ねらい** 必要感のある課題を知り、ルーブリックを作成することで、学習の見通しをもつことができる。
- (2) **準備** 必要感のある課題 ルーブリック
- (3) **展開**

学習活動 予想される生徒の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する生徒への支援 ◇評価)
1 本時のめあてをつかみ、本時の学習の見通しをもつ。	5分	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習の見通しがもてるようにするために、めあてを提示する。
<div style="border: 2px solid blue; border-radius: 15px; padding: 10px; display: inline-block;"> <p>めあて 必要感のある課題で学習の見通しをもち、ルーブリックを作成しよう。</p> </div>		
2 必要感のある課題を知る。 〈予想される生徒の反応〉 <ul style="list-style-type: none"> 何を学習するのだろうか。 どのような力を身に付ければよいのかな。 	10分	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が主体的に学習に取り組むために、聞く場面を想定した課題を考え、必要感のある課題として提示する。
<p>[必要感のある課題] 二年生の総合的な学習の時間に「上級学校調べ」がある。上級学校調べは今後の進路選択において大変重要な学習である。あなたは、自分の進路が明確に決まっていないので、三年生の先輩にどのように進路選択をしているのか聞きたいと思っている。そこで、三年生の先輩方から進路選択の仕方をたくさん話してもらうために、三年生が「話しやすい聞き方」を考えよう。</p>		
3 課題を解決している姿を想像し、ルーブリックを作成する。 〈予想される生徒の反応〉 <ul style="list-style-type: none"> 課題を解決している姿ってどのような姿だろう。 話しやすい聞き方をすると三年生はどのような話をしてくれるのだろうか。 	5分	<ul style="list-style-type: none"> 課題を解決したときの姿を想起させるために、モデルAとモデルBの動画を見て、「話しやすい聞き方」で話を聞いたときの三年生の姿がどのような姿であるかを想像できるようにする。 生徒がルーブリックの記述語を作成できるようにするために、現状の実態をC評価として、B評価、A評価の順に考えていくこととする。 <p>◎自分の考えがもてない生徒には、席を自由に移動してよい時間を設定し、他者の意見を参考に自分の考えを形成できるようにする。</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・どのような聞き方をすれば話しやすくなるかな。 ・質問をいっぱいすれば話しやすい聞き方になるのかな。 <p>3 グループ活動で「話しやすい聞き方」を考える。</p> <p>〈予想される生徒の反応〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞く態度って相手の目を見たりうなずいたりするほかに何があるかな。 ・まずはメモをとって整理をしないと考えられないよね。効果的なメモの取り方はどのようにすればよいのだろう。 ・質問についても考えないといけないな。どのような質問がよいのかな。 	25分	<p>で考えられるようにするために、三つの視点を示したワークシートを使用する。</p> <p>◎個人学習で考えをもてない生徒には机間指導で支援をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えと他者の考えを比較し、共通点や相違点を考えることができるようにするために、指導形態を個人から生活班グループへと変え、話し合い活動ができるようにする。 ◎自分の意見を上手に表現できない生徒には、机間指導で支援を行う。 ・「聞くこと」の既習事項を活用するために、適宜既習事項を想起する場を設けたり、既習事項を活用しているグループを取り上げたりする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◇自分の考えと他者の考えを比較することで「話しやすい聞き方」を考えている。 (話し合い活動シート・ループリック・観察・ワークシート) 【話すこと・聞くこと】</p> </div>
<p>4 本時の学習のまとめをし、振り返りをする。</p> <p>〈予想される生徒の反応〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題を解決するために今日は聞く態度を中心に考えたよ。 	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習をまとめるために、各グループの進捗状況を発表するよう促す。 ・形成的評価を行うために、生徒用ループリックを用いて、自己評価を行わせる。

6 本時の展開 (3 / 3)

- (1) ねらい 「話しやすい聞き方」を実践し、本単元のまとめをすることができる。
- (2) 準備 ループリック ワークシート
- (3) 展開

学習活動 予想される生徒の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する生徒への支援 ◇評価)
<p>1 本時のめあてをつかみ、本時の学習の見通しをもつ。</p> <p style="border: 2px solid blue; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;">めあて 「話しやすい聞き方」を実践し、学習のまとめをしよう。</p>	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習の見通しがもてるようにするために、めあてを提示する。
<p>2 グループで「話しやすい聞き方」を実践し、評価する。</p> <p>〈予想される生徒の反応〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際に話しやすい聞き方を試してみよう。 	30分	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合った「話しやすい聞き方」を実践できるようにするために、グループの中で「三年生役（現段階である程度進路が選択できている者）」「質問者」「評価者」と役割分担をさせる。 ・「話しやすい聞き方」を評価できるようにするために、「三年生役」と「質問者」が実践している

<ul style="list-style-type: none"> ・ルーブリックの状態にならないよ。何が足りないのかな。 ・ルーブリックでしっかりと評価をしよう。 		<p>様子を評価者にルーブリックを用いて評価させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実践したことを評価できるようにするために、「三年生役」と「質問者」は実践後、実践を振り返りながら自己評価をするよう促す。 ・全ての生徒がルーブリックで評価することができるようにするために、役割分担を変えて再度実践を行えるようにする。
<p>3 本時の学習のまとめをする。</p> <p>〈予想される生徒の反応〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・態度は大切だと思う。笑顔で質問をした方がよいことがわかった。 ・質問が大切だよ。話しやすい質問を考える必要があるよ。 <p>4 単元の学習を振り返る活動をする。</p> <p>〈予想される生徒の反応〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うなずいたり、相づちをうったりできるようになったよ。 ・質問をたくさん考えられた。 ・今回の学習を生かしたいな。 	<p>5分</p> <p>10分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・考えを共有できるようにするために、「話しやすい聞き方」を評価したことを想起させ、よかった点、改善点などを出すことができるようにし、クラス全体で話し合うことで、本時の学習をまとめる。 ・単元の学習を振り返るために、ルーブリックを用いて学習の軌跡を想起させ、学習前の自分と学習後の自分を比較させることで、身に付けた力が実感できるようにする。 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>◇学習前の自分と学習後の自分を比較し、身に付けた力を実感している。 (話し合い活動シート・ルーブリック・観察・ワークシート) 【話すこと・聞くこと】</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・身に付けた力を今後の学習等に生かすために、「話しやすい聞き方」を使って三年生に質問したり、今後の学習に生かす場面を想像するようにする。

ループリック

年 組 番 名前 ()

○ 課題
二年生の総合的な学習の時間に「上級学校調べ」がある。上級学校調べは今後の進路選択においで大変重要な学習である。あなたは、自分の進路が明確に決まっていけないので、三年生の先輩方にどのよう進路選択をしているのか聞きたいと思っている。そこで、三年生の先輩方から進路選択の仕方をたくさん話してもらうために、三年生が「話しやすい聞き方」を考えよう。

1 ループリックを作ろう。(※ループリックとは評価をするための指標のこと)

○ 個人で考えたループリック

	A	B	C
記述語			



○ グループの人と話し合った後のループリック

	A	B	C
記述語			

2 必要感のある課題をループリックとして考えた状況まで到達するために、どのような学習をすればよいでしょうか。学習計画を立ててみましょう。

話しやすい聞き方を考えよう

年 組 番 名前 ()

一 「聞くこと」についてどのような学習をしてきたか振り返ってみよう。

二 話しやすい聞き方とはどのような聞き方だろうか。いくつかの視点で考えてみよう。

○ 態度（聞くときの態度）



○ 思考（聞いたことの整理）

○ 表現（質問の内容）

三 グループの人のよい意見を取り入れて改善してみよう。

○ 態度



○ 思考

○ 表現

四 今日の振り返りをしよう。

○ 「話しやすい聞き方」はルーブリックをどれくらい達成できると考えられるだろうか。

評価をしよう

年 組 番 名前 ()

1 ルーブリックをもとにグループの人のパフォーマンスを評価しよう。

名 前	評 価	評価をした根拠

2 ルーブリックをもとに自分のパフォーマンスを自己評価をしよう。

評 価	評価をした根拠

3 この学習で学んだことは何ですか。また学んだことをこれからの生活にどのように生かしますか。

教師用ルーブリック

○ 課題

二年生の総合的な学習の時間に「上級学校調べ」がある。上級学校調べは、今後の進路選択において大変重要な学習である。あなたは、自分の進路が明確に決まっていないので、三年生の先輩にどのように進路選択をしているのか聞きたいと思っている。そこで、三年生の先輩方から進路選択の仕方をたくさん話してもらうために、三年生が「話しやすい聞き方」を考えよう。

○生徒のルーブリック

	A	B	C
記述語	三年生が進路を選択した理由を楽しそうに話し、もっと話したい、もっと質問をしてほしいという気持ちが聞き手にも伝わってくる聞き方をしている。	三年生が進路を選択した理由を楽しそうに話す様子が聞き手に伝わってくる聞き方をしている。	三年生が進路を選択した理由を話してくれる聞き方をしている。

○教師用ルーブリック

	A (学習したスキルを活用し、相手の言動を意図的に操作している状態)	B (学習をしたことでスキルを身に付けた生徒の状態)	C (現状の生徒のままの状態)
話を聞く態度	<ul style="list-style-type: none"> 話し手の話を笑顔で聞き、うなずくなど身振りを交えることができる。 効果的に相づちを打ち、話し手に安心感を与えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 話し手の話を笑顔で聞き、話に合わせてうなずくなど身振りを交えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 話し手の話を身振りを交えたり、笑顔で聞いたりすることができていない。
聞いたことを整理するメモのとり方	<ul style="list-style-type: none"> 聞いたことを簡単なメモとして書き記し、メモの内容を整理しながら、次の質問を考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 聞いたことを簡単なメモとして書き記すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 聞いたことを簡単なメモとして書き記すことができていない。
質問の仕方や内容	<ul style="list-style-type: none"> 進路選択の根拠や経緯を聞くために、閉じた質問や開いた質問を効果的に使い分け、5W1Hを意識したり、感想を交えたりしながら、話し手の話を促すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 進路選択の根拠や経緯を聞くために、閉じた質問や開いた質問を使い分けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 進路選択の根拠や経緯を聞くために、閉じた質問や開いた質問を使い分けることができていない。

国語科学習指導案

令和〇年〇月〇日（〇曜日）第〇校時 1年〇組 教室 指導者 松元 崇敏

1 単元名 話題や方向を捉えて話し合おう グループ・ディスカッションをする

2 考察

(1) 教材観

日常生活の中で、人と会話をしたり話し合いをしたりする場面は数多くある。平成29年改訂の学習指導要領では、主体的・対話的で深い学びの視点からの学習過程の改善が示された。これからの学校生活では、生徒が話し合いをする場面が意図的に数多く設定されるだろう。

しかし、自分の考えを主張することはできても、他者の主張を聞き、自分の主張との共通点や相違点を踏まえて次の質問や発言につなげていくことが苦手な生徒は多いのではないだろうか。

話し合い活動を効果的なものにしていくためには、「聞くこと」の力を高め、他者の主張を聞き、相手を尊重する態度をもって話し合うことが必要ではないかと考える。

本教材は、日常生活の中でよくある限られた時間の中での話し合いの場面で、どのようにすれば議論を深め、よりよい解決策を見付けることができるか等、グループで効果的に話し合いを進めていく方法を身に付けることができる教材である。

本教材の学習を通して、他者の主張を聞き、自分の主張との共通点や相違点を踏まえて、質問や発言ができる生徒を育てていきたい。

(2) 生徒の実態及び指導方針（男子〇〇名 女子〇〇名 計〇〇名）

これまで生徒は中学校に入学してから「情報を正確に聴き取る」の学習で「聞くこと」を学習し、『好きなもの』を紹介しようスピーチをする』では、自分の考えを明確にし、説得力をもって伝える「話すこと」について学習をしてきている。

そこで、本単元の学習は話し合うことを中心として設定された単元ではあるが、話し合い活動の中で聞くことの力を伸ばしていきたいと考える。そのためには、グループ・ディスカッションの学習を通して、他者の主張を聞き、自分の主張との共通点や相違点を踏まえて、質問や発言ができるようにする。また、生徒のパフォーマンスをルーブリックを用いて形成的に評価をしていき、学習の軌跡をたどることで身に付けた力を実感できるようにする。

本単元の学習ではパフォーマンス評価を取り入れることで生徒が学習によって身に付けた力を確実なものとし、他の学習や活動へ活用できるようにしていきたいと考える。

3 研究との関わり

平成29年告示の中学校学習指導要領や平成31年度群馬県学校教育の指針では「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した授業改善が求められている。

本研究では、国語科の聞くことの領域にパフォーマンス評価を取り入れ、生徒の聞くことの力を高め、コミュニケーション能力を高めることで主体的・対話的で深い学びの実現を目指す。

そこで本単元では、必要感のある言語活動として、自分の意見と他者の意見との共通点や相違点を考えることのできる課題を考え、「必要感のある課題」として設定し、必要感のある課題を解決するパフォーマンスを評価する。評価に当たっては、ルーブリックを用いて、自己評価、相互評価、教師による評価を行うようにする。単元の終末では、ルーブリックを用いて振り返りの活動を行うことで、学習した軌跡をたどり身に付けた力が実感できるようにする。この一連の活動を行うことで生徒はメタ認知をしたり、身に付いた力を次の学習に生かしたいという意欲をもったりすることができるようになると思われる。

本単元の学習を通して、聞くことの力を高め、コミュニケーション能力を高めるためにパフォーマンス評価を取り入れる効果を検証していきたいと考える。

4 単元の目標

クラスの課題を改善する方法を考えるために、質問をし合って互いの考えを聞き、共通点や相違点を踏まえて、自分の考えをまとめることができる。

5 指導計画（全 4時間予定）

評価 規 準	関心・意欲・態度	必要に応じて記録したり質問したりしながら積極的に話の内容を捉え、学習課題に沿って、今後のクラスの方向性を考え、クラスに提案しようとしている。		
	話すこと・聞くこと	話すこと・聞くことにおいて、必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめている。		
	言語についての知識・理解・技能	原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。		
時間	過程	伸ばしたい資質・能力		主な学習活動
		活用させたい知識等	思考力・表現力等	
第1時	課題把握	<ul style="list-style-type: none"> 他者の意見とそれを裏付ける根拠との関係についての理解 	<ul style="list-style-type: none"> 情報同士の結び付きに注意しながら聞き、話の方向性を考え、課題を把握する力 課題を解決していくための見通しをもつ力 	<ul style="list-style-type: none"> 単元の課題を設定する。 ループリックを作成する。
第2時	課題追究	<ul style="list-style-type: none"> 他者の意見とそれを裏付ける根拠との関係についての理解 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えと他者の考えの違いに気付きながら、自分の考えをまとめる力 	<ul style="list-style-type: none"> グループ・ディスカッションを通して、クラスの現状を考える。
第3時		<ul style="list-style-type: none"> 他者の意見とそれを裏付ける根拠との関係についての理解 聞いて得た情報と自分のもっている情報とを図式化して整理する知識 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えと他者の考えの違いに気付きながら、自分の考えをまとめ、自分の考えや他者の考えのよさに気付く力 	<ul style="list-style-type: none"> グループ・ディスカッションを通して、クラスの現状を改善する方法を考える。
第4時	まとめ		<ul style="list-style-type: none"> これまでの学習の軌跡を 	<ul style="list-style-type: none"> ループリックを用いて振り

		たどり、自分が身に付け た力に気付く力	返りの活動を行う。
--	--	------------------------	-----------

6 本時の展開 (1 / 4)

- (1) **ねらい** 必要感のある課題を知り、ルーブリックを作成することで、学習の見通しをもつことができる。
- (2) **準備** 必要感のある課題 ルーブリック ホワイトボード マーカー
- (3) **展開**

学習活動 予想される生徒の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する生徒への支援 ◇評価)
1 本時のめあてをつかみ、本時の学習の見通しをもつ。	5分	・本時の学習の見通しがもてるようにするために、めあてを提示する。
<div style="border: 2px solid blue; border-radius: 15px; padding: 10px; display: inline-block;"> <p>めあて 必要感のある課題で学習の見通しをもち、ルーブリックを作成しよう。</p> </div>		
2 必要感のある課題を知る。 〈予想される生徒の反応〉 ・何を学習するのだろうか。 ・どのような力を身に付ければよいのかな。	10分	・生徒が主体的に学習に取り組むために、グループ ・ディスカッションを通して自分の意見と他者の意見との共通点や相違点を考えることのできる課題を考え、必要感のある課題として提示する。
<p>○必要感のある課題</p> <p>クラスで練習を重ねてきた合唱コンクールが終わった。この間、クラスは団結を深めることができただろうか。1年生として学校生活を送るのは残り5ヶ月である。この5ヶ月間の過ごし方で、これからの学校生活が更に充実したものになっていく。そこで、クラスの現状を把握し、今後の方向性をグループ・ディスカッションを通して考えていきたい。他者の意見をしっかりと聞き、自分の意見との共通点や相違点を踏まえて、今後のクラスの方向性を考え、クラスに提案しよう。</p>		
3 課題を解決する方法を理解し、ルーブリックを作成する。 〈予想される生徒の反応〉 ・グループ・ディスカッションって何をする事なのかな。 ・ルーブリックを作成するって何をすることかな。	5分	・課題を解決する方法を理解するために、モデルの動画を見て、グループ・ディスカッションの仕方を確認する。 ・どんなグループ・ディスカッションにすると課題が解決できるだろうと投げ掛け、生徒のイメージを喚起するようにする。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>◇必要感のある課題を解決するために、ルーブリックを作成し、学習の見通しをもっている。 (話し合い活動シート・ルーブリック・観察) 【関心・意欲・態度】</p> </div>		
4 グループ活動でグループとしてのルーブリックを作成する。	15分	・生徒がルーブリックの記述語を考えられるようにするために、教師とともにB評価を作成する。A評価、C評価はB評価を基に考えられるようにする。

<p>〈予想される生徒の反応〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私のA評価とグループの人のA評価が違うな。なぜ違うのか話し合ってみよう。 ・このA評価じゃ解決が簡単すぎないかな。もっとよい姿が想像できるとよいな。 		<ul style="list-style-type: none"> ◎自分の考えがもてない生徒には、席を自由に移動してよい時間を設定し、他者の意見を参考に自分の考えを形成できるようにする。 ・自分の考えと他者の考えを比較するために、指導形態を個人から生活班グループへと変え、話し合い活動ができるようにする。 ・自分の意見と他者の意見を比較し、共通点や相違点が考えられるようにするために、ワークシートの記述語を比較するよう促す。 ◎自分の意見を上手に表現できない生徒には、机間指導で支援を行う。
<p>5 グループで作成したルーブリックを発表し合い、クラス全体でルーブリックを作成する。</p> <p>〈予想される生徒の反応〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私のグループと同じルーブリックがあるね。 ・違う考え方のルーブリックがある。参考にしよう。 <p>6 本時の学習の振り返りをする。</p> <p>〈予想される生徒の反応〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題を解決するための学習計画を立てよう。 	<p>10分</p> <p>5分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合ったことをまとめるために、各グループで話し合ったルーブリックを黒板に提示し、共通点や相違点を示す。 ・ルーブリックを完成するために、それぞれの共通点や相違点をもとにクラス全体で話し合い、話し合った結果をルーブリックに記述するよう促す。 ・課題解決を計画的に行うために、振り返り活動として、学習計画を立てる。

6 本時の展開 (2/4)

- (1) **ねらい** クラスの現状を把握するために、グループ・ディスカッションを通して自分の考えをもつことができる。
- (2) **準備** ルーブリック ワークシート ホワイトボード マーカー
- (3) **展開**

学習活動 予想される生徒の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する生徒への支援 ◇評価)
<p>1 本時のめあてをつかみ、本時の学習の見通しをもつ。</p> <p>めあて クラスの現状を把握するために、グループ・ディスカッションを通して友だちの意見を聞こう。</p>	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習の見通しがもてるようにするために、めあてを提示する。
<p>2 グループ・ディスカッションをするために自分の主張を考える。</p> <p>〈予想される生徒の反応〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私のクラスはまとまりのあるクラス 	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ・ディスカッションの主張を考えるために、自分が今のクラスの状態をどのように捉えているかを見つめてみるよう促す。 ・説得力のある主張を考えることができるようにするために、主張には客観的な根拠が必要であるこ

<p>と言ってよいのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まとまっているって考えている人もいると思うな。客観的な根拠を用意しよう。 		<p>とを伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活発な意見交換ができるようにするために、質問や反論も予想するよう助言する。
<p>3 グループ・ディスカッションをしてクラスの現状を把握する。</p> <p>〈予想される生徒の反応〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Aさんは今のクラスの状況をこのように捉えているのだな。 ・Bさんの主張は私の主張と似ているぞ。 	15分	<p>◎個人学習で考えをもてない生徒には机間指導で支援をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ・ディスカッションに取り組むために、6人前後のグループをつくり、司会者、記録者を決めるよう促す。 ・グループ・ディスカッションを通して、自分の考えがもてるようにするために、自分の主張と他者の主張の共通点や相違点を踏まえて新たな考えを導き出すことが大切であることを伝える。 <p>◎自分の主張をすることができない生徒には机間指導で支援をする。</p>
<p>4 グループ・ディスカッションで話し合ったことを報告する。</p> <p>〈予想される生徒の反応〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Aグループの話合いはクラスの現状を的確に把握しているな。参考にしたいな。 ・私たちのグループは話合いが終わらなかったな。でも、今のクラスで改善したいところがあることを報告しよう。 	10分	<p>・グループでの話し合いを全体で共有するために、話し合ったことを記録者が報告するよう指示する。</p> <p>・結果が出ていても、出ていなくても話し合ったところまでを報告するよう促す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>◇グループ・ディスカッションを通して、クラスの現状を把握し、自分の考えをまとめている。 (ループリック・観察・ワークシート) 【話すこと・聞くこと】</p> </div>
<p>5 本時の学習のまとめをし、振り返りをする。</p> <p>〈予想される生徒の反応〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ループリックで評価すると今の状態はB評価だな。A評価にするために次は積極的に提案してみよう。 	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習をまとめるために、形成的評価として、グループ・ディスカッションの様子をループリックで相互評価をしたり、自己評価したりするよう促す。 ・本時の学習を次の学習につなげるために、評価した内容を互いにフィードバックできるようにする。

6 本時の展開 (3/4)

- (1) **ねらい** クラスの現状を改善するための方法を考えるために、グループ・ディスカッションを通して自分の考えをもつことができる。
- (2) **準備** ループリック ワークシート ホワイトボード マーカー
- (3) **展開**

学習活動 予想される生徒の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する生徒への支援 ◇評価)
1 本時のめあてをつかみ、本時の学習の見通しをもつ。	5分	・本時の学習の見通しがもてるようにするために、めあてを提示する。

めあて

クラスの現状を改善するための方法を考えるために、グループ・ディスカッションを通して自分の考えをもとう。

2 グループ・ディスカッションをするための自分の主張を考える。	10分	・グループ・ディスカッションの主張を考えるために、前回の話し合いを受けてクラスの現状を改善する方法を考えるよう促す。
<p>〈予想される生徒の反応〉</p> <ul style="list-style-type: none">・私はクラスのまとまりを深めるための方法を提案しよう。・代案も必要だと思うから、三つくらい方法を考えておいた方がよいな。・客観的な根拠は必ず用意しておこう。	15分	・説得力のある主張を考えることができるようになるために、主張には客観的な根拠が必要であることを伝える。
3 グループ・ディスカッションをしてクラスの現状を改善するための方法を考える。	15分	・活発な意見交換ができるようにするために、質問や反論も予想するよう促す。
<p>〈予想される生徒の反応〉</p> <ul style="list-style-type: none">・Cさんはクラスのまとまりを深めるために「ありがとうの木」を提案したな。・私もCさんの意見には賛成だな。	10分	◎個人学習で考えをもてない生徒には机間指導で支援をする。
4 グループ・ディスカッションで話し合ったことを報告する。	10分	・グループ・ディスカッションに取り組むために、6人前後のグループをつくり、司会者、記録者を決められるようにする。
<p>〈予想される生徒の反応〉</p> <ul style="list-style-type: none">・Aグループの話し合いはクラスの現状を的確に把握しているな。参考にしたいな。・私たちのグループは話し合いが終わらなかったな。でも、今のクラスで改善したいところがあることを報告しよう。	10分	・グループでの話し合いを全体で共有するために、話し合ったことを記録者が報告するよう指示する。
		・結果が出ていても、出ていなくても話し合ったところまでを報告するよう促す。
		<p>◇グループ・ディスカッションを通して、クラスの現状を改善するための方法を考えている。 (ルーブリック・観察・ワークシート) 【話すこと・聞くこと】</p>
5 本時の学習のまとめをし、振り返りをする。	10分	・グループ・ディスカッションを通して、自分の考えがもてるようにするために、自分の主張と他者の主張の共通点や相違点を踏まえて新たな考えを導き出すことが大切であることを伝える。
<p>〈予想される生徒の反応〉</p> <ul style="list-style-type: none">・私もCさんの意見には賛成だな。	10分	◎自分の主張をすることができない生徒には机間指導で支援をする。
		・グループでの話し合いを全体で共有するために、話し合ったことを記録者が報告するよう指示する。
		・結果が出ていても、出ていなくても話し合ったところまでを報告するよう促す。

6 本時の展開 (4 / 4)

- (1) **ねらい** グループの考えをクラスに提案し、学習のまとめをすることができる。
- (2) **準備** ルーブリック ワークシート A4の用紙
- (3) **展開**

学習活動 予想される生徒の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する生徒への支援 ◇評価)
1 本時のめあてをつかみ、本時の学習の見通しをもつ。 <div style="border: 2px solid blue; border-radius: 20px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> めあて グループ・ディスカッションで話し合ったことをまとめてクラスに提案し、本単元の学習のまとめをしよう。 </div>	5分	・本時の学習の見通しがもてるようにするために、めあてを提示する。
2 クラスへの提案書を作成する。 〈予想される生徒の反応〉 ・一番伝えたいことを強調するようにしよう。 ・装飾を加えると見やすくなるかな。	20分	・提案書を作成するために、これまでの学習の成果を生かして考えたことをA4の用紙にまとめるよう促す。 ◎机間指導をしながら、提案書の作成を支援する。
4 本単元の学習のまとめをする。 〈予想される生徒の反応〉 ・これまで学習してきた話を聞く態度がまだ不十分だったな。 ・相手の主張を聞き、自分の主張との共通点や相違点を踏まえて長くやりとりをすることができたよ。	25分	・単元の学習をまとめるために、既習事項を振り返ったり、ルーブリックを用いたりして、自己評価ができるようにする。 ・単元の学習で身に付けた力を実感するために、ワークシートを用いて身に付けた力を実感したり、これからの生活に生かしていきたい力を確認したりできるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ◇本単元の学習のまとめとして、聞くことの自己評価をするができています。 (ルーブリック・観察・ワークシート) 【話すこと・聞くこと】 </div>

ループリック

年 組 番 名前 ()

○ 課題

クラスで練習を重ねてきた合唱コンクールが終わった。この間、クラスは団結を深めることができただろうか。1年生として学校生活を送るのは残り5ヶ月である。この5ヶ月間の過ごし方で、これからの学校生活が更に充実したものになっていく。そこで、クラスの現状を把握し、今後の方向性をグループ・ディスカッションを通して考えていきたい。他者の意見をしっかりと聞き、自分の意見との共通点や相違点を踏まえて、今後のクラスの方角性を考え、クラスに提案しよう。

- 1 ループリックを作ろう。(※ループリックとは評価をするための指標のこと)

○ 個人で考えたループリック

	A	B	C
記述語			



○ 対話をした後のループリック

	A	B	C
記述語			

- 2 課題をループリックとして考えた状況まで到達するために、どのような学習をすればよいでしょうか。学習計画を立ててみましょう。

話題や方向を捉えて話し合おう グループ・ディスカッションをする ①

年 組 番 名前 ()

- 一 あなたのクラスは今、どのような状態にあると考えられるか、あなたの考えを書きましょう。
へなげそう考えているのか根拠もはっきりと書いておきましょう。く

二 グループ・ディスカッションで出た意見をメモしておきましょう。

- グループ・ディスカッションメモ (自分の主張との共通点や相違点、新たな考え等。)

三 今日の学習の振り返りをしよう。

- グループ・ディスカッションの様子をルーブリックで評価しましょう。
- ① 裏面にグループの人の評価をしましょう。
- ② 裏面に自己評価をしましょう (評価の根拠も書いておきましょう)。

ルーブリックを用いて評価をしよう

年 組 番 名前 ()

一 ルーブリックをもとにグループの人のパフォーマンスを評価しよう。

名前	評価	評価をした根拠	

二 ルーブリックをもとに自分のパフォーマンスを自己評価をしよう。

評価	評価をした根拠

話題や方向を捉えて話し合おう グループ・ディスカッションをする ②

年 組 番 名前 ()

- 一 前の時間で話し合ったクラスの現状を改善するための方法を考えましょう。
へなせそう考えているのか根拠もはっきりと書いておきましょう。く

- 二 グループ・ディスカッションで出た意見をメモしておきましょう。

○ グループ・ディスカッションメモ (自分の主張との共通点や相違点、新たな考え等。)

- 三 今日の学習の振り返りをしよう。

○ グループ・ディスカッションの様子をルーブリックで評価しましょう。

- ① 裏面にグループの人の評価をしましょう。
② 裏面に自己評価をしましょう (評価の根拠も書いておきましょう)

話題や方向を捉えて話し合おう グループ・ディスカッションをする ③

年 組 番 名前 ()

○ 単元の学習を振り返ろう。

(一) あなたは、相手の主張を正しく聞くことができましたか。「はい」・「いいえ」どちらかに○で囲み、その根拠も書きましょう。

(はい ・ いいえ)

○根拠

--

(二) 本単元で身に付けた力を考えてみましょう。

① 本単元の学習で身に付けた力は、どんな力ですか。

--

② 身に付けた力をこれからどのように使っていきますか。

--

教師用ルーブリック

○ 課題

クラスで練習を重ねてきた合唱コンクールが終わった。この間、クラスは団結を深めることができただろうか。1年生として学校生活を送るのは残り5ヶ月である。この5ヶ月間の過ごし方で、これからの学校生活が更に充実したものになっていく。そこで、クラスの現状を把握し、今後の方向性をグループ・ディスカッションを通して考えていきたい。他者の意見をしっかりと聞き、自分の意見との共通点や相違点を踏まえて、今後のクラスの方向性を考え、クラスに提案しよう。

○ 生徒のルーブリック

	A	B	C
記述語	相手の主張を聞き、自分の主張との共通点や相違点を踏まえて、質問をすることで新たな考えに気付き、やりとりを繰り返している。	相手の主張を聞き、自分の主張との共通点や相違点を踏まえて、質問をしている。	相手の主張を聞き、自分の主張との共通点や相違点を踏まえて、質問をしていない。

○ 教師用ルーブリック

	A (学習したスキルを活用し、相手の言動を意図的に操作している状態)	B (学習をしたことでスキルを身に付けた生徒の状態)	C (現状の生徒のままの状態)
グループ・ディスカッションに参加する態度	相手の話を笑顔で聞き、うなずくなど身振りを交えることができ、効果的に相づちを打つことで、相手に安心感を与えることができている。	相手の話を笑顔で聞き、話に合わせてうなずくなど身振りを交えることができている。	相手の話を身振りを交えたり、笑顔で聞いたりすることができていない。
グループ・ディスカッションでの思考	相手の主張を聞き、自分の主張との共通点や相違点を相関関係が分かるようにメモに取っている。	相手の主張を聞き、自分の主張との共通点や相違点をメモに取ることができている。	相手の主張を聞き、自分の主張との共通点や相違点をメモに取ることができない。
グループ・ディスカッションでの表現	相手の主張を聞き、自分の主張との共通点や相違点を踏まえて、質問をすることで新たな考えに気付き、やりとりを繰り返している。	相手の主張を聞き、自分の主張との共通点や相違点を踏まえて、質問をしている。	相手の主張を聞き、自分の主張との共通点や相違点を踏まえて、質問をしていない。

今後の方向性をクラスに提案しよう！！

年 組 番 名前 ()

- 私の提案 (3月26日の修了式までにクラスみんなで取り組むこと)